

令和1年11月1日

芦屋市企画部市民参画課
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

芦屋市役所公光分庁舎避難訓練報告書

- 1 開催日時：令和1年10月30日（水）10：00～10：45
- 2 担 当：二宮 毅行
- 3 参加者数：42名
(市民活動センター利用者：31名，地域経済振興課職員：7名，
リードあしや職員：4名)
- 4 内 容
 - (1) 目 的：消防法に基づいた避難訓練の年1回の実施を行い，火災時の対応が円滑にできるようにする。
 - (2) 内 容：公光分庁舎北館1階オープンスペースキッチンにて出火を想定した総合避難訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）※別紙
 - ・出火場所確認
 - ・非常ベルを鳴動させ119番の通報訓練
 - ・職員による施設利用者の避難誘導
 - ・施設内消火器を仮想火元に集めての初期消火訓練
 - ・避難場所での水消火器を使つての消火訓練
 - ・消防本部隊員による訓練講評及び講話
- 5 振り返り（消防本部講評も含む）
 - (1) 初期消火訓練について
 - ・火元発見者による大声での火事通報を行った。しかし，どこで火が発生したかの場所の情報伝達がされなかったことの指摘があった。発火場所により避難経路を変えなければならないことがあるので施設内にいる者への必要な情報であることが分かった。
 - ・初期消火活動については，火元に施設内の消火器（1F，2F）4本が迅速に集められたのは，消火活動に有効でありよかった。
 - (2) 通報訓練について
 - ・119番への通報に関して各電話機に常備している火災通報マニュアルに沿つて円滑な連絡ができた。但し，火元を伝えることができなかったのが改善点となった。

(3) 避難誘導について

- ・北館2階の3つの会議室に利用者31名がいたが、避難経路を屋内階段と屋外階段に分散確保し、それぞれに職員が配置し誘導することで避難場所への円滑な避難ができた。

(4) 水消火器を使った消火訓練について

- ・避難場所において消防本部隊員による消火器の説明の後、実技を行った。多くの方が参加して使い方を学習することができた。

(5) その他

- ・消防本部隊員から消火器や火事に関する丁寧な説明や講話があり、訓練参加者からは「よくわかった。」「参加してよかった。」といった感想が聞かれた。
- ・公光分庁舎北館から南館への非常通報がベルではなく電子音によるものであったことが確認できた。
- ・公光分庁舎南館・北館合同避難訓練を事前打ち合わせなく、役割分担表、手順書の共有のみで行ったが、配置や誘導は円滑に行われたのではないかと感じた。

講座風景



芦屋市公光分庁舎 避難訓練実施要領

日時 : 令和元年10月30日(水) 午前10時から11時頃まで

場所 : 芦屋市公光分庁舎北館・南館

内容 : 通報・消火・避難訓練

参加者 : 南館/地域経済振興課 職員 6名(予定)

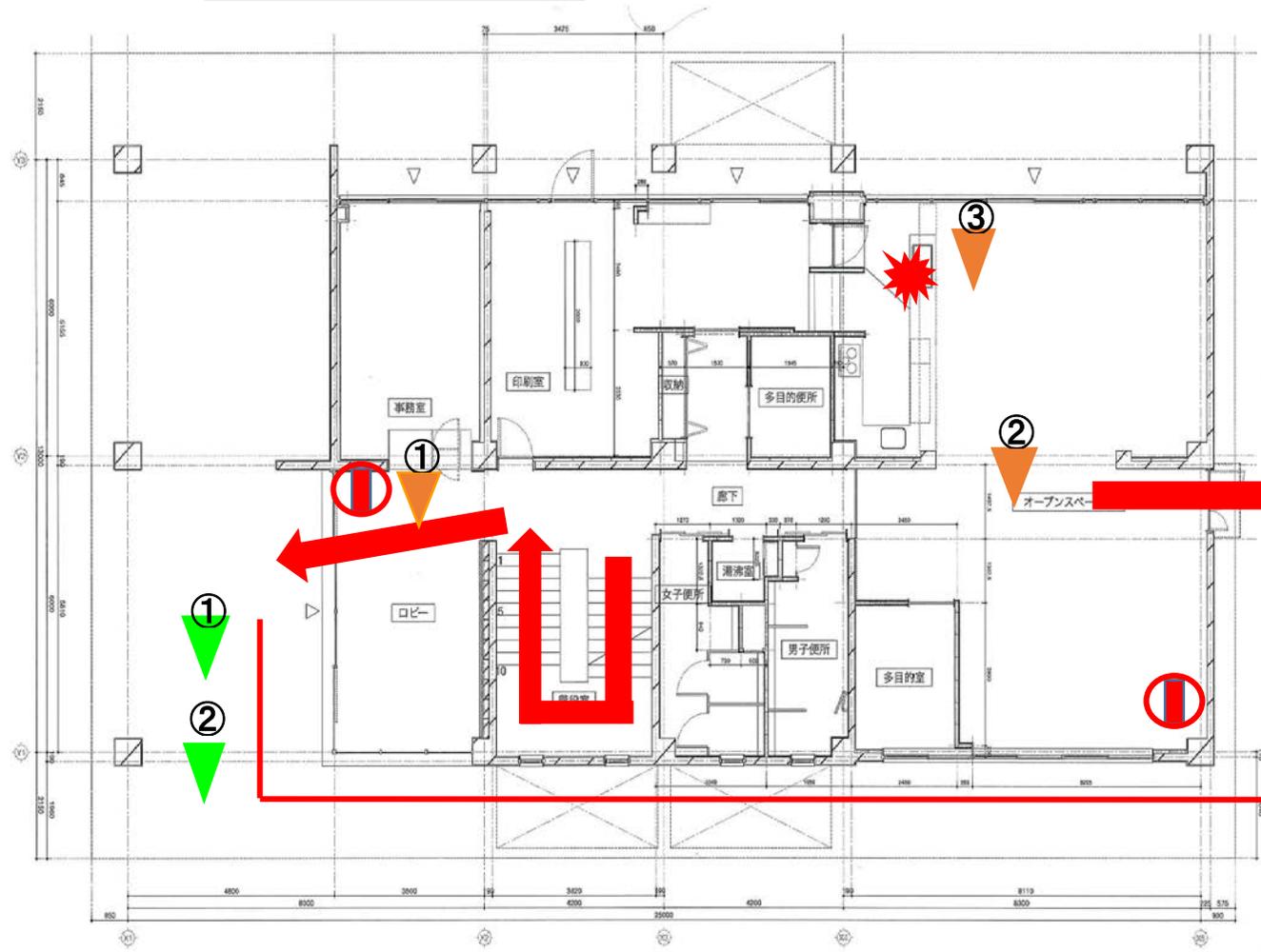
北館/市民活動センター 職員 4名

市民活動センター 利用者 (※リードあしや当日の予定利用人数:3団体 40名-A室・B室・C室)

役割分担 :

事項	日時	内容①	内容②	南館/地域経済振興課 担当:森本 真司	北館/市民活動センター 担当:二宮 毅行 防火管理者:橋野 浩美	備考
事前準備		消防訓練実施計画書 (案)作成	消防署と事前内容確認		二宮	消防車駐車場所
	10/12(金)	消防訓練実施計画書提出			二宮	
	10/21(月)	近隣住民への通知書作成・配布	消防訓練実施の案内を作成し配布する		二宮	
		セコムへの事前通知			二宮	
訓練	10/30(水)			出勤者:6名	出勤者:4名 橋野・出口・横山・二宮	
	9:00~	リードあしや来館者への通知と協力案内			受付スタッフにて周知徹底	避難訓練案内手渡し
		セコムへの事前通知			二宮	
		芦屋消防署への事前通知			二宮	
	9:50	消防隊 到着			対応:二宮	消防車の出動はなし
	10:00	訓練開始				
	10:02	火災報知器作動	訓練非常ベル押下 (1階給湯室脇)			1階給湯室脇
		消火現場の確認	火元:1階オープンス ペースシンク下湯沸し器		横山	(初期消火班)
		通報訓練	消防署への通報(119)		出口	(通報連絡班) 火元伝達
			南館への通報確認	北館からの通報確認		
		火災報知器停止	音響停止ボタン操作		出口	
		消火訓練(初期消火)			横山	1階消火器2本を集める 模擬消火で可
		各所非常口開錠			1階:2名、2階:2名、	ベランダ側窓 自動ドア
			北館からの通報を受け、 北館応援・配置	6名		配置図 ※避難経路参照
	10:15	避難訓練(誘導)	リードあしや利用者の避難場所(※2)への誘導	1階:3~4名、2階:2名	1階:2名、2階:2名	避難人数の確認 エレベーター使用禁止
		残留者の確認	地下1階~2階の各所のチェック	地下1階~1階:2名 2階:4名		
		避難場所集合	全員の人数確認 負傷者の有無確認			北側駐車場
		消火訓練(模擬消火)	水消火器を使つての 模擬消火訓練			水消火器の使用願 北側駐車場
		消防署の講評				
	11:00	訓練終了 解散				

公光分庁舎北館1階



-  避難経路
-  仮想火元
-  消火器
-  避難誘導員 (地域経済振興課)
-  避難誘導員 (市民活動センター)

②

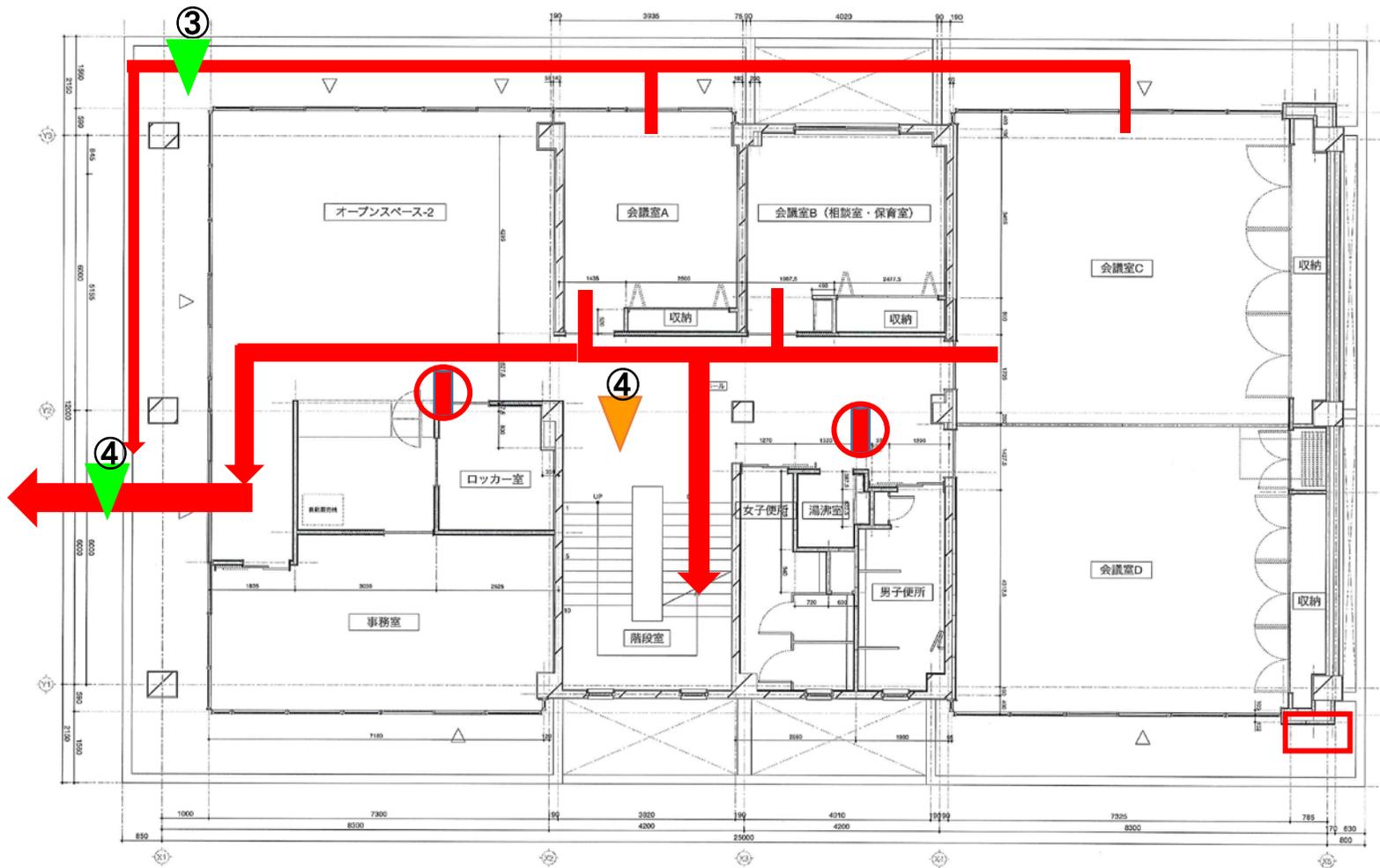
避難集合場所
(北側駐車場)

① ②

工事名称	
芦原市役所公光分庁舎北館改修工事	
図面名称	種別
1階平面図	1/50 (A2)

公光分庁舎北館2階

避難経路の誘導



- 避難経路
- 消火器
- 避難梯子
- 避難誘導員
(地域経済振興課)
- 避難誘導員
(市民活動センター)

工事名称 芦屋市役所公光分庁舎北館改修工事	
図面名称 2階平面図	縮尺 1/50 (A2)

芦屋市役所公光分庁舎 避難訓練 手順書

2019.10.30

9:00	①	リードあしやの受付で来館者への通知と参加協力依頼(アナウンスレター手渡し)をお願いします。	出口・二宮	
	②	セコムへの事前通知をしておく。(香山氏 0797-35-5480)	出口	
	③	芦屋消防署への事前通知をしておく。	二宮	
9:50	④	芦屋消防署 予防課署員到着 4名前後	二宮	
		訓練開始		
10:00	①	火元のオープンスペースキッチンを確認して、館内に大きな声を出して火事を知らせる。	横山	
	②	訓練非常ベル作動させる。(1F給湯室)		
	③	【消火訓練】火元に消火器を集める。模擬消火態勢を取る。	消火器①:二宮 消火器②:横山	② ③ ▼ ▼
	④	【通報訓練】119に電話を入れ、マニュアルに沿った対応をする。	出口	
	⑤	北館からの非常通報を受け、南館から応援に駆け付ける。	4名	
10:05	⑥-1	【避難訓練】 南館の職員は北館の応援に移動する。	1F:2名、2F:2名	
	⑥-2	北館職員は1F印刷室、オープンスペース、トイレの利用者に通報し、避難口(正面口・北側非常口)からの避難誘導を行う。 北館自動ドア(1F正面玄関)を解除して開放し、館外へ避難させる。 誘導係(二宮)は北側非常口から避難場所(駐車場)に出て、避難者を誘導する。	北1F:出口、二宮	① ▼
	⑥-3	北館職員は2F会議室利用者に通報し、避難を促し、A室C室のベランダ窓を開錠して避難経路を確保、避難口からの避難誘導を行う。 北館自動ドア(2F通用口)を解除して開放する。 ※利用者の人数を確認する。	北2F:橋野	④ ▼
	⑥-4	南館職員は避難誘導のために配置し、避難場所へ誘導する。 ※2階からの避難にエレベーターは使用させないこと。	1F:①西村②森 2F:③亀岡④石原	① ② ③ ④ ▼ ▼ ▼ ▼
10:10	⑦	消火班(横山)は消火活動が終わったら、避難場所(駐車場)に移動して、避難者を誘導する。(二宮は横山と交代)	横山	③ ▼
	⑧	南館の確認を終えた南館職員1~2名が北館の応援に駆け付ける。 1名は避難場所(駐車場)に配置する。	⑤小山 ⑥森本	⑤ ⑥ ▼ ▼
10:15	⑨	B1F~2Fに残留者がいないかどうかを各部屋等を回って確認する。 二宮はB1Fの残留者の有無を確認後、2Fの確認のため移動して確認する。2階は4名で確認する。	B1F:二宮 1F:出口 2F:橋野・二宮 南館職員2名	② ▼ ① ▼ ② ④ ③ ④ ▼ ▼ ▼ ▼
10:20	⑩	避難場所に全員集合して人数確認を行う。		
	⑪	消防隊員による水消火器を使って模擬消火活動を行う。 庁舎利用者もできるだけ参加してもらおう。特に未経験者は積極的に参加させる。		
10:45	⑫	消防隊員による講評。		
11:00	⑬	訓練終了		